

令和6(2024)年度

事業報告書

一般財団法人大阪府青少年活動財団

今、変わらないでいつ変わる。 子どもたちの現状に一層寄り添い 社会と繋がる財団を目指す。

～青少年健全育成の歩みを止めない～

青少年財団にとっての2024年度は試行錯誤の一年となりました。

自然体験事業においてはバスチャーター費用の大幅な値上がりなど物価高騰の煽りを受け、事業参加費を値上げせざるを得ず、参加人数は令和4年及び令和5年度の実績を下回る結果となりました。NOS/HRTプロジェクトでは人数的にはコロナ前以上の実績を示していますが、出張型の比率が増えるなど、利用形態の変化により、収入額的にはコロナ前には及ばないものの、順調に伸びを示しています。

施設運営では新たに指定管理を獲得した箕面市立青少年教学の森野外活動センターの運営が好調であり、結果大きな増収を図ることができ、黒字決算には至らなかったものの、

昨年度の▲3000万円超の赤字から、▲80万円というV字回復とも言える決算をマークすることができました。

2025年度はこの上げ潮を維持持続させるために、既存事業の改善と強化、新規事業立ち上げの模索を図り、なおかつ職員の待遇改善を目指しながら、最終的な黒字決算を目指してまいります。

I. 公益目的事業

SDGsターゲット: 1, 3, 4, 5,
10, 16, 17

【2024年度の総括】



青少年活動リーダーの育成

新人リーダー獲得数27名(2025年3月31日現在籍総数45名)

リーダー研修会は、13回を計画し、うち2回が台風などで中止となりましたが11回を開催しました。理論研修では多様化する子どもたちの理解を、実地研修では実際の環境やプログラムに対応するため、実践に即した内容を実施しました。

ユニバーサル事業の継続

2024年度も、現代の青少年が抱える課題解決に向けて、社会のニーズに応える公益性の高いユニバーサル事業を引き続き実施しました。

昨年度は全コースを開催することができました。

→計画:全3事業・定員95名 実績:3事業 参加数65名

2025年度に於いても、各事業共により多くの対象者に参加いただくために、広く周知が届くよう努めてまいります。

I. 公益目的事業

SDGsターゲット: 1, 3, 4, 5,
10, 16, 17

【2024年度実績報告】

公益目的財産額		年間平均認定事業予算	目的支出計画期間	
2 5 4, 4 5 5, 8 2 6 円		9, 5 9 3, 0 0 0 円	2 7 年	
No.	事業名	予定期間	共催団体	備考
1	青少年活動 リーダー育成事業	年間		採用新人数27名 (現在籍総数45名) リーダー研修: 年間11回
2	公開講座	冬期	大阪府キャンプ協会 関西テレビ青少年育成事業団	リスクマネジメントセミナー(中止) 関西野外活動ミーティング リーダーズギャザリング
3	「シーカヤックチャレンジ」	9月	大阪府立青少年海洋センター	障がい者カヌー事業
4	「のびのびキャンプ」	プレ 11月 実施11月	公益財団法人 関西テレビ青少年育成事業団 特定非営利法人アサヒキャンプ	自閉スペクトラム症など 発達障がいの子どもの キャンプ
5	「ゆうゆうキャンプ」	11月	公益財団法人 毎日新聞大阪社会事業団	和泉市内「こども 食堂」に通う子どもの キャンプ

シーカヤックチャレンジ

9/21~22 @大阪府立青少年海洋センター



のびのびキャンプ 11/23~24 @吉野宮滝野外学校



ゆうゆうキャンプ 11/30~12/1 @吉野宮滝野外学校



Ⅱ.NOS/HRTプロジェクト事業

SDGsターゲット:4,17

【2024年度の総括】



2024年度は例年利用の団体を中心に、新たな団体も加わり、多くの利用がありました。

指導者・引率者などからの、紹介や口コミ等を中心に

スポーツチームや学校団体の新たな団体の獲得にもつながりました。

2023年度に初の試みとして実施した「吉野オフラインキャンプ」も、

2024年度は文部科学省委託事業として採択を受け、吉野町や奈良県との連携の上、

実施することができた他、海外からの長期利用受入れ等の新たな取り組みで、

年間を通じて事業展開を行うことができました。

	参加者数実績／延べ人数	事業収益実績額
2024年度実績	11,799人／21,418人	70,405,012円
2024年度当初予定	11,000人／20,000人	68,150,000円
2023年度実績	10,427人／16,791人	57,027,630円

※NOS/HRT出張型事業分12,082,740円を含む
※NOS野外活動指導者養成事業収入558,200円を含む

II. NOS/HRTプロジェクト事業

SDGsターゲット:4, 17

【2024年度実績報告】

NOS/HRTプロジェクト推進事業

(ヒューマン・リレーション・トレーニング)

内 容	団体数	実人数	延人数
学校・青少年団体等への体験活動の機会提供 集団づくり・人間関係づくりプログラムの提供	64	6,318	11,762
企業等への組織づくり・コミュニケーション能力向上プログラムの提供	6	204	462
学校クラブ・スポーツクラブ等へのリーダー育成プログラムの提供	27	766	2,604
教育委員会、私立学校との「教員研修」等での連携事業 (大阪府教育センター、豊能地区、摂津市教育委員会 他)	4	243	243
「出張対応」等での教育現場との連携事業 (兵庫県たつの市教育委員会、寝屋川市教育委員会 等)	6*	3,247	3,247
大学・専門学校等のキャンプ実習 (指導者資格取得講習を併用したNOS/HRT事業受託を含む)	21	928	2,905
機関連携での資格認定講習会の実施	2	18	56
その他の団体(吉野VB(ビジターズビュロー)、財団リーダーOB/OG会 等)	3	75	139
合 計	133	11,799	21,418
昨年度比	+8団体	+1,638人	+4,627人

*事業単位でカウント 例) 寝屋川市教委小小HRT12校区 = 1団体

II. NOS/HRTプロジェクト事業

SDGsターゲット:4, 17

【2024年度実績報告】

NOS/HRTプロジェクト推進事業

(ヒューマン・リレーション・トレーニング)

■主な傾向

・継続的なチーム育成支援

大阪国際大学 女子バスケットボール部 (年間:4回)

大阪桐蔭高等学校 女子サッカー部 (年間:3回)

・大学キャンプ実習/専門学校実習の対応

継続対応に加え、コロナ禍で中断していた専門学校の4月オリエンテーション合宿等の再開

・学校団体の増加

4～6月を中心に、クラスづくりを目的とした利用 (野外学校で/出張対応で) が増加

7～9月はフィールドを活かしたプログラムを目的とした利用も増加傾向

特に大阪市内の小中学校が増加 (教員間の紹介・ロコミ等での広まり)

・「人間関係づくり」プログラムの新たな展開

令和4年12月改定「生徒指導提要」の内容を加味し、新たな展開方法の導入を試行継続中

(例:「一人ひとりを認め合う」、「多様性を尊重する」などの意識を育む活動の展開など)

・吉野町と連携した利用受入れ

吉野町や地元と綿密に連携を図って利用を受入れる団体の増加

→ 例 新たな試みとして、CISV (国際交流団体) の青年 (8カ国)、長期利用 (2週間) の対応

吉野町ビジターズビュロー (VB) の新規事業モニターキャンプ (森林環境税活用) 等





Ⅱ. NOS/HRTプロジェクト事業

SDGsターゲット:4, 17

【2024年度実績報告】

野外活動指導者の養成

(1) 機関連携での資格認定講習会の実施

・日本キャンプ協会

(開催協力) キャンプディレクター1級講習会 : オンライン型と対面集合型で開催

・大阪府キャンプ協会

(連携協力) キャンプディレクター2級講習会 : 2名(2月実施)

(連携協力) キャンプインストラクター講習会 : 16名(2月実施)

(2) 大学・専門学校等からの野外活動指導者資格取得講習を併用した NOS/HRT事業受託

・大原学園4校、大阪経済大学、大阪国際大学

(1)(2) 合わせてキャンプインストラクター(日本キャンプ協会指導者資格)

新規登録 計25名登録

Ⅲ. 自然体験事業 (P.16,17参照)

SDGsターゲット:3, 4, 12, 14, 15, 17



Ⅰ. 募集型企画事業の実施 【2024年度の総括】

自然体験事業の実施にあたっては、引き続き看護師の帯同を行うなど、安心してご参加いただけるよう努めましたが、世の中の様々な制限が一気に取り払われ、さらに物価高騰に伴い事業参加費を値上げせざるを得なくなったことから、結果的に思うように集客に結びつかず、参加実績人数は計画の7割程度にとどまる結果となりました。

しかしながら夏休み期間のキャンプ事業や、新規3事業を含む比較的特色のある事業には、多くの子どもたちが参加してくれ、次の事業計画に活かす材料を得ることができた一年となりました。

	年間事業数	参加者数目標／延べ人数	事業収入額
2024年度実績	36事業	1,142人／2,481人	30,203,780円
2024年度当初	50事業	1,694人／3,691人	41,754,000円
2023年度実績	42事業	1,253人／2,790人	32,384,326円



Ⅲ. 自然体験事業

SDGsターゲット:3, 4, 12, 14, 15, 17

2. 機関連携事業【2024年度の総括】

2024年度は、自治体の事業開催への動きも加速し始め、またさらに新たな取組みも始まった一年間となりました。

- | | |
|---|---------------|
| (1) 摂津市チャレンジャークラブ(夏期キャンプ・冬期キャンプ)(受託事業:摂津市教育委員会) | 収入:3,277,215円 |
| (2) 箕面市立青少年教学の森野外活動センターでの青少年キャンプ事業の運営 12事業開催
(受託事業:箕面市教育委員会) | 収入:8,817,400円 |
| (3) 堺市子ども会育成協議会交流事業の受託運営(夏の交流事業・ 冬の交流事業) | 収入:730,550円 |
| (4) その他、自治体主催キャンプ事業や子ども会行事などのサポート、日本キャンプ協会運営業務 | 収入:713,973円 |
| (5) 講師派遣事業(高槻市教育委員会、堺市教育スポーツ振興事業団、専門学校、指定管理事業者他) | 収入:1,444,934円 |
| (6) 青少年育成大阪府民会議への参画 | |
| (7) 「こころの再生」府民運動への協力 | |
| (8) 大阪府キャンプ協会の事務局運営 | 収入:904,000円 |



摂津チャレンジャー事業サマーキャンプ 8月9日～11日
大阪府立青少年海洋センター

箕面市青少年健全育成推進事業 年間12事業
箕面市立青少年教学の森野外活動センター



堺市子ども会育成協議会 夏の交流事業
8月4日～6日 東吉野ふるさと村



【2024野外学校スローガン】「お互いを認め合おう」

Ⅳ 施設運営

SDGsターゲット:

3, 4, 5, 10, 11, 12, 14, 15, 17



Ⅰ. 自主施設の運営

(Ⅰ) 吉野宮滝野外学校

(開設：2010（平成22）年）

【2024年度の総括】

・第二期長期使用貸借契約10年間の5年目の2024年は、NOS/HRTプログラムの利用で、スポーツクラブや部活動合宿の利用や学校団体等の利用が活性化し、年間を通じてコンスタントににぎわいを示した一年間となりました。年間稼働日数でも、直近10年間で最高日数となりました。

・また、ネットの利活用を子ども自身が考える「吉野オフラインキャンプ」や海外（8か国）からの留学団体の長期（2週間）利用受入れ等、吉野町と連携して取り組む、新たな事業も積極的に実施しました。

・野外学校の利用閑散期には、NOS/HRTプログラムの出張型指導等で、ニーズに応えると共に、職員スタッフが保有する専門性や生産性を維持することを意識し、運営を行いました。

・地元周辺との良好な関係を維持するとともに、連携協調を図るため、地元交流会の開催や、地元運動会や地区内の祭礼等に協力しました。

	年間運営経費	事業収入実績額	年間利用実績人数 (延べ)
2024年度実績	17,206,551円	24,264,875円	16,100人
2024年度当初目標	16,176,000円	22,760,000円	17,000人
2023年度実績	34,297,466円	19,773,838円	12,754人

*2024年度のみ吉野宮滝野外学校における人件費当初予算を共通経費に付け替え

吉野宮滝野外学校



2. 指定管理施設の運営

箕面市立青少年教学の森 野外活動センター (オルタナの森・Minoh)

【2024年度の総括】

非公募指定管理半年間+公募による指定管理8年間のうち1年目

3月にもご報告したとおり、前指定管理者の辞退に伴いR6年7月よりの半年間を、非公募で受託。

あらためて公募による指定管理者受託をし、R7年1月からR14年12月末までの8年間を運営します。

【利用実績】

受託期間9か月間の利用人数が5,791人の実績となりました（前年比121%）。
1年目（1月～3月）目標人数800人に対して1,254人（目標達成率157%）

【施設改修】

引継ぎ時に施設の清掃状況が良くなかったため施設清掃に努めております。
2024年度は、正式に指定管理を委託された期間が3か月となったため施設改修を行っておりません。

【施設事業】

箕面市から委託を受けて、こどもキャンプ事業を12事業を実施しいずれも定員に達しています。また施設自主事業として、「焚火カフェ」や「焼き板体験」を実施しています。

【地域連携】

箕面市学校教育推進室と協力して困難を抱える児童向けに「ゆずる遠足」事業を開催いたしました。

【広 報】

キャンプ場予約サイト「なっぷ」を活用し、ホームページやSNSでの情報発信、市政だよりやチラシなどでの情報発信もおこなっております。

箕面市立青少年教学の森野外活動センター オルタナの森・Minoh



・第三期共同指定管理10年間のうち9年目。

2. 共同指定管理施設の運営

(1) 大阪府立少年自然の家

【2024年度の総括】

【利用実績】 目標の92,000人を上回る**92,303人**の実績となりました。(コロナ前2018年比98%)
貸切バス料金の高騰から、行先を府外から当施設に変更される団体も散見されました。

【施設改修】 Wi-Fiエリアの拡大、バーベキューガーデンの車いす用スロープの増設など利便性の向上のほか、昨年に続き、改善要望が多いトイレの洋式化を段階的に進めています。
食堂空調設備をはじめ電気・水道等施設老朽化に伴う修繕箇所が増加傾向にあります。

【施設事業】 各事業ともほぼ定員に達しています。家族対象の「流しそうめん体験」、小学生対象の動画作成体験「クリエイターキャンプ」など好評につき増回した事業もありました。
「オープンデー」はキャンプファイヤー体験などを追加し約2,500人の来場を頂きました。

【地域連携】 清水建設・泉州森と緑の総合事務所と連携した「大阪府アドプトフォレスト・冒険の森づくり」のほか、出張型では大阪府教育庁の放課後子ども教室支援事業「出前講座」(計13件)、河南町教育委員会、泉北ニュータウンの町おこし事業などに協力しました。

【広 報】 ホームページのリニューアルし、SNS(インスタグラム・フェイスブック、LINE)でのPRを強化しました。また、メールでの申込が増加しています。

＜共同指定管理者＞
公益財団法人 大阪ユースホステル協会

	利用実績
2024年度実績	92,303人
2024年度当初目標	92,000人
2023年度実績	90,801人

大阪府立少年自然の家



・第四期共同指定管理5年間のうち4年目。

3. 共同指定管理施設の運営

(2) 大阪府立男女共同参画

・青少年センター（ドーンセンター）

【2024年度の総括】



<共同指定管理者>

株式会社カクタス

(一財)大阪府男女共同参画推進財団

【会議室】会議室の稼働率を高めるべく、年度後半に会議室検索サイト「会議室ドットコム」に掲載し、周知広報を図りました。効果測定を行い、さらに複数のサイトに登録するか、別の方法を探るか、今後検討を行います。

会議室稼働率：37.3%（昨年度比：104.0 %、2018年度比較：74.9%）

【ホール・パフォーマンススペース】

2023年度に比べてわずかながら回復しました。

年間稼働率 ホール：58.3%（昨年度比：103.3 %、2018年度比87.3%）

パフォーマンススペース：41.40%（昨年度比：92.9%、2018年度比90.7%）

ホールの利用は少しずつですが回復してきています。

【入館者数】235,663人。昨年度比103.7%と微増しました。（コロナ禍前比71.3 %）

【収入】貸館収入1億1560万円（昨年度比106.5%）

駐車場収入948万円（昨年度比91.0 %）

【支出】施設利用収入の伸び悩みから3年連続の赤字（共同体決算額▲20,010,000円）

になり、財団も責任割合の33% 約680万円の損失を補填する結果となりました。

3. 共同指定管理施設の運営

(2) 大阪府立男女共同参画

・青少年センター
(ドーンセンター)

【2024年度実績報告】



青少年コンシェルジュ(情報提供及び相談機能)の配置

「10代青少年のための居場所」コーナーの設置(情報ライブラリー内)

中高生対象「自習室」(夏休み・年始受験シーズン)の開設

開設30周年記念事業の実施

・11月「ユースフェスティバル」 ・3月「ママパパに贈る子育てファミリーコンサート」

当財団の青少年活動リーダー育成事業の研修拠点のひとつとしての活用

青少年活動情報コーナーへの事業広報チラシ配架の促進

青少年関係団体の利用登録団体増加の推進と研修会場としての利用促進

(全登録団体50団体中、青少年関係団体18団体 令和6年度末時点)

青少年関係事業の連携実施

※府青少年課、大阪府青少年育成府民会議と連携「第＊回中学生の主張大阪大会」開催協力

その他、府施策青少年関連事業等の啓発

1Fロビー展開事業 パネル展 7月／「少年非行・被害防止強調月間、暴走族追放強調月間」

12月／「中学生の主張 作文作品展」

「こども110番」施設登録

青少年健全育成を主な目的とした野外活動団体とのイベントや研修会の共催及び協力

「関西野外活動ミーティング」(3月)

一時預かり保育「こどものへや」の運営 開催数48回子ども60人の保育

「こどものへや」一般利用の運営 42団体62区分

「ドーンdeキラリ」(大阪府男女課主管事業)の一時保育受託(9月)(保育2日間)

V 法人運営

1. 理事会

(1) 第1回理事会(定時) 令和6(2024)年6月4日(火) 15時30分～

大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)

・令和5(2023)年度事業報告及び収支決算／公益目的支出計画実施報告書の承認 他

(2) 第2回理事会(定時) 令和7(2025)年3月11日(火) 15時30分～

大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)

・令和7(2025)年度事業計画及び収支予算 他

2. 評議員会

(1) 第1回評議員会(定時) 令和6(2024)年6月21日(金) 10時00分～

大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)

・令和5(2023)年度 収支決算の承認／公益目的支出計画実施報告書の承認 他

(2) 第2回評議員会(定時) 令和7年(2025)3月21日(金) 13時30分～

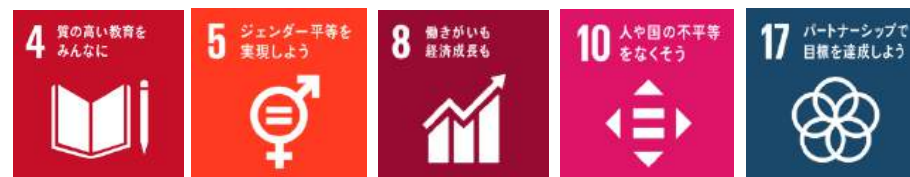
大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)

・令和7(2025)年度事業計画及び収支予算 他

V 法人運営

3. 法人運営

SDGsターゲット:4, 5, 8, 10, 17



- (1) 社会の変革に合わせた機構改革と職員個々の意識の改革を推進
- (2) 感染症や災害への対応を含めた危機管理の強化並びに
コンプライアンスの徹底などによる、リスクマネジメント力の強靱化
- (3) 個人情報及び特定個人情報の適切な取扱いとその保護の周知徹底
- (4) ガバナンスの徹底
- (5) 持続的な法人運営



新規事業等の推進による新たな収入源の確保

補助金・助成金の活用

2024年度実績:なし *複数応募申請するも採択に至らず

V 法人運営

4. 第三期中期経営計画の推進



2030年までの財団オフィシャルマーク

(1) SDGsを実践した法人運営

《SDGs推進宣言》の策定をはじめ、
職員研修等を通じてSDGsへの理解をより一層深化し、
同時に個々の職員の担当する業務へ反映させる道筋をつけ、
持続可能な社会の実現に向けた法人運営を目指す。

(2) 経営の健全化・安定化を目的とした効率化の推進と、収益の最大化

例：リモートを活用した会議や面談のより積極的な導入

ペーパーレス化の推進

電子承認システムの導入の道筋の模索

(3) 計画的な人員採用および育成、ならびに資格取得の推奨などによるキャリア形成の推進

(4) 法令や社会背景を取り入れたより働きやすい職場環境の構築ならびに福利厚生充実

V 法人運営

4. 第三期中期経営計画の推進

(5) 中期経営計画の実行と推進（経営企画会議での推進および一部の見直し）

① 青少年の今日的課題の解決に向けた新規事業の構築のチャレンジ、
プログラムの積極提案と実施

② 法人運営の安定化を目指す経営計画の策定・実行

・青少年育成団体としての専門性の向上と継承

・職員個々の計画的育成に向けた項目の抽出と研修の実施

③ 広報、営業方策の継続検討

（吉野宮滝野外学校のホームページリニューアル、広報活動へのSNSの積極的な導入他）

事業報告書の附属明細書
令和6(2024)年度事業一覧（資料編）

I 公益目的事業

1. 青少年活動リーダー（ユースリーダー）育成事業

カリキュラム		日程
		月 日
1	青少年活動リーダー募集活動 （難波市民学習センター）	「新人リーダーガイダンス」 4月 20日(土)、21日(日)、24日(木)、26日(金)
2	実地研修Ⅰ （大阪府立少年自然の家）	1年目：「野外活動プログラムの体験」 2～4年目：「野外技術の習得」「組織の理解」 「野外活動施設の理解」 5月 25日(土)～26日(日)
3	実地研修Ⅱ （府立青少年海洋センター）	「施設の理解」「水辺のプログラムの理解」 新しい生活様式を踏まえて野外プログラムを実証 6月 1日(土)～2日(日)
4	実地研修Ⅲ （吉野宮滝野外学校）	「野外活動施設の理解」「HRTプログラムの理解」 「グループ運営」「組織運営」 「夏期事業内容の理解」「委嘱式」 7月 6日(土)～7日(日)
	実地研修Ⅴ(大阪府立少年自然の家) 台風10号の影響により中止	「夏期事業の評価と振り返り」 8月 30日(金)～9月1日(日)
5	実地研修Ⅵ （吉野宮滝野外学校）	「冬期事業の理解」 「財団青少年活動リーダーの交流」 「コミュニケーション」「自己理解と他者理解」 12月 14日(土)～15日(日)
6	実地研修Ⅶ （吉野宮滝野外学校）	「1年間の評価と振り返り」 2月 12日(木)～13日(木)
7	実地研修Ⅷ （吉野宮滝野外学校）	「各学年ランクアップ研修」 「リーダー卒業式」 3月 7日(金)～9日(日)

2. 理論研修

カリキュラム		日程
		月 日
1	理論研修Ⅰ（ドーンセンター）	3・4年目：「キャンプの運営・マネジメント」 4月 10日(木)、11日(木)
2	理論研修Ⅱ（ドーンセンター）	1・2年目：「ユースサービス大阪とは」「組織とは」 「青少年活動リーダーとは」 「子どもとあそび」 6月 19日(木)、20日(木)
	夏期事業研修・委嘱式（吉野宮滝野外学校） ※実地研修Ⅲに統合	「夏期事業内容の理解」「委嘱式」 7月 7日(日)
3	理論研修Ⅳ（ドーンセンター）	「キャンプでのコミュニケーション」 11月 2日(土)
4	理論研修Ⅴ（ドーンセンター）	「子どもの権利について」 1月 22日(木)、23日(木)

3. 公開講座

カリキュラム		日程
		月 日
	リスクマネジメントセミナー（ドーンセンター） 計画変更により中止	「施設運営・事業運営の安全管理」 「事故事例から考えるリスクマネジメント」 12月頃
1	リーダーズギャザリング （吹田市自然体験交流センター わくわくの郷）	「リーダー活動の情報交換と親睦 他」 1月 18日(土)
2	関西野外活動ミーティング（ドーンセンター）	「キャンプの新たな挑戦」 2月 23日(日)

4. ユニバーサル事業

3 事業 65名 130名

	事業名	日程	泊数	対象	参加者数		
					定員	実績	延べ
1	シーカヤックチャレンジ（府立海洋センター）	9月 21日(土)～22日(日)	1泊2日	一般	40名	20名	40名
2	のびのびキャンプ（吉野宮滝野外学校）	11月 23日(土)～24日(日)	1泊2日	小3～高3	15名	12名	24名
3	ゆうゆうキャンプ（吉野宮滝野外学校）	30日(土)～12月1日(日)	1泊2日	小1～中3	40名	33名	66名

Ⅱ 財団自主事業（募集型企画事業）

1. 吉野宮滝野外学校 実施12事業 催行中止9事業 282名 延べ 590名

事業名	日程	泊数	対象	参加者数		
				定員	実績	延べ
1 親子で遊ぼう！～新緑の吉野山編～	4月 28日(日)～29日(月)祝	1泊2日	家族	30名	18名	36名
子どもキャンプ塾5月 最少催行人数に達せず中止	5月 3日(金)祝～4日(土)休	1泊2日	小1～小6	30名	0名	0名
2 里山ディキャンプ ～初夏の農業体験編～	6月 1日(土) (日程変更)	日帰り	家族	20名	4名	4名
3 吉野ファミリーキャンプ6月 (ホテル&川を楽しむ編)	15日(土)～16日(日)	1泊2日	家族	30名	24名	48名
4 親子で遊ぼう！ ～リバープログラム編～	7月 20日(土)	日帰り	家族	20名	18名	18名
5 吉野ファミリーキャンプ夏①	27日(土)～28日(日)	1泊2日	家族	20名	15名	30名
6 吉野1年生キャンプ	3日(土)～4日(日)	1泊2日	小1	48名	46名	92名
7 吉野ファミリーキャンプ夏②	8月 11日(土)～12日(日)	1泊2日	家族	30名	36名	72名
8 吉野サマーキャンプ	12日(月)祝～14日(水)	2泊3日	小1～小6	48名	43名	129名
9 吉野チャレンジキャンプ	9月 21日(土)～23日(月)祝	2泊3日	小1～中3	30名	28名	84名
10 子どもキャンプ塾9月	28日(土)～29日(日)	1泊2日	小1～小6	30名	14名	28名
11 里山ディキャンプ ～稲刈り編～	10月 19日(土)	日帰り	家族	15名	23名	23名
吉野ファミリーキャンプ10月 最少催行人数に達せず中止	19日(土)～20日(日)	1泊2日	家族	30名	0名	0名
吉野ハロウィンキャンプ 最少催行人数に達せず中止	26日(土)～27日(日)	1泊2日	小1～小6	30名	0名	0名
親子で遊ぼう！ ～秋満喫キャンプ(温泉&紅葉ハイキング編)～ 計画変更により中止	11月 9日(土)～10日(日)	1泊2日	家族	30名	0名	0名
秋満喫キャンプ(温泉&紅葉ハイキング) 最少催行人数に達せず中止	16日(土)～17日(日)	1泊2日	小1～小6	20名	0名	0名
とことん工作キャンプ 計画変更により中止	12月 7日(土)～8日(日)	1泊2日	小1～小6	20名	0名	0名
12 吉野クリスマスキャンプ	21日(土)～22日(日)	1泊2日	小1～小6	30名	13名	26名
里山ディキャンプin吉野③ ～冬野菜の収穫編～ 計画変更により中止	1月 18日(土)	日帰り	家族	15名	0名	0名
吉野ファミリーキャンプ1月 最少催行人数に達せず中止	18日(土)～19日(日)	1泊2日	家族	30名	0名	0名
吉野ファミリーキャンプ2月 (冬山ミニトレッキング) 計画変更により中止	2月 1日(土)～2日(日)	1泊2日	家族	30名	0名	0名

2. 大阪府立少年自然の家 実施 4 事業 175名 延べ 403名

事業名	日程	泊数	対象	参加者数		
				定員	実績	延べ
1 貝塚サマーキャンプ	12日(月)祝～14日(水)	2泊3日	小1～小6	50名	53名	159名
2 貝塚2 days キャンプ①	8月 16日(金)～17日(土)	1泊2日	小1～小6	55名	53名	106名
3 貝塚わんぱくキャンプ	17日(土)～18日(日)	1泊2日	5歳～小3	50名	46名	92名
4 貝塚2 days キャンプ②	22日(水)～23日(金)	1泊2日	小1～小6	55名	23名	46名

3. 国立淡路青少年交流の家 実施 2 事業 97名 延べ 249名

事業名	日程	泊数	対象	参加者数		
				定員	実績	延べ
1 淡路島マリンキャンプ①	8月 7日(水)～8日(木)	1泊2日	小1～小6	42名	42名	84名
2 淡路島マリンキャンプ②	20日(火)～22日(木)	2泊3日	小1～小6	42名	55名	165名

4. 大阪府立青少年海洋センター 実施 4 事業 155名 延べ 420名

事業名	日程	泊数	対象	参加者数		
				定員	実績	延べ
1 とことん遊ぶマリンキャンプGW	5月 4日(土)休～5日(日)	1泊2日	小1～小6	42名	34名	68名
2 とことん遊ぶマリンキャンプ	8月 14日(水)～16日(金)	2泊3日	小1～小6	40名	44名	132名
3 マリンチャレンジキャンプ	18日(日)～21日(水)	3泊4日	小3～高3	30名	33名	132名
4 フィッシングキャンプ	9月 14日(土)～15日(日)	1泊2日	小1～小6	42名	44名	88名

5. ハチ高原他（スキー・ウィンター事業） 実施4事業 催行中止3事業 118名 延べ 339名

事業名	日程	泊数	対象	参加者数		
				定員	実績	延べ
1 ウィンターキャンプ in ハチ高原	12月 28日(土)～30日(月)	2泊3日	小1～小6	40名	26名	78名
2 ジュニアスキー&スノーボード in ハチ高原			小1～高3	70名	48名	144名
よくばり！ちびっこスノーキャンプ in ハチ高原 最少催行人数に達せず中止	1月 4日(土)～6日(月)	2泊3日	5歳～小3	40名	0名	0名
3 ファミリースキー in ハチ高原①	11日(土)～13日(月)祝	2泊3日	家族	35名	29名	87名
雪遊びキャンプinもくもくの里 最少催行人数に達せず中止	25日(土)～26日(日)	1泊2日	小1～小6	30名	0名	0名
4 ファミリースキー in ハチ高原②	2月 8日(土)～9日(日)	1泊2日	家族	35名	15名	30名
春休みよくばり妙高スノーキャンプ 最少催行人数に達せず中止	3月 27日(水)～30日(日)	3泊4日	小1～中3	35名	0名	0名

6. 浪速アイスケート場 実施4事業 催行中止1事業 134名 延べ 134名

事業名		日程	泊数	対象	参加者数		
					定員	実績	延べ
1	スケート教室 6月	6月 9日(日)	日帰り	小1～小6	各30名	23名	23名
2	スケート教室 9月	9月 16日(月)祝				60名	60名
	スケート教室 1月 最少催行人数に達せず中止	1月 25日(土)				0名	0名
3	スケート教室 2月㊟	2月 24日(月)休				19名	19名
4	スケート教室 3月	3月 20日(木)祝				32名	32名

7. 東吉野ふるさと村（奈良県東吉野村） 実施 1 事業 17名 延べ 34名

事業名		日程	泊数	対象	参加者数		
					定員	実績	延べ
1	ふるさと村キャンプ	9月 7日(土)～8日(日)	1泊2日	小1～小6	30名	17名	34名

8. 奈良県立野外活動センター 実施 1 事業 21名 延べ 42名

事業名		日程	泊数	対象	参加者数		
					定員	実績	延べ
1	秋の忍者キャンプ	10月 5日(土)～6日(日)	1泊2日	小1～小6	30名	21名	42名

9. かつやま恐竜の森・奥越高原青少年自然の家（福井県） 実施 2 事業 81名 延べ 201名

事業名		日程	泊数	対象	参加者数		
					定員	実績	延べ
1	恐竜発掘・化石掘りキャンプGW	4月 27日(土)～29日(月)祝	2泊3日	小1～小6	40名	39名	117名
2	恐竜発掘・化石掘りキャンプ	11月 9日(土)～10日(日)	1泊2日	小1～小6	40名	42名	84名

10. 吹田市立自然交流センターわくわくの郷 実施 1 事業 24名 延べ 48名

事業名		日程	泊数	対象	参加者数		
					定員	実績	延べ
1	春休みわくわくキャンプ	4月 4日(木)～5日(金)	1泊2日	小1～小6	25名	24名	48名

11. 和歌山県立白崎青少年の家 実施 1 事業 38名 延べ 76名

事業名		日程	泊数	対象	参加者数		
					定員	実績	延べ
1	白崎マリンキャンプ	8月 23日(金)～24日(土)	1泊2日	小1～小6	30名	38名	76名

12. 兵庫県立兎和野高原野外教育センター 催行中止 1 事業 0名 延べ 0名

事業名		日程	泊数	対象	参加者数		
					定員	実績	延べ
	うわの雪遊びキャンプ 計画変更により中止	2月 8日(土)～9日(日)	1泊2日	小1～小6	30名	0名	0名

13. 箕面市立青少年教学の森野外活動センター（オルタナの森・Minoh） 催行中止 1 事業 0名 延べ 0名

事業名		日程	泊数	対象	参加者数		
					定員	実績	延べ
	みのお森の子キャンプ① 最少催行人数に達せず中止	3月 27日(木)～28日(金)	1泊2日	小1～小6	30名	0名	0名

Ⅲ. 機関連携事業 4 事業 486名 延べ 1003名

事業名		日程	泊数	対象	参加者数		
					定員	実績	延べ
1	堺市子ども会育成協議会 夏の交流事業（東吉野ふるさと村）	8月 4日(日)～6日(火)	2泊3日	小4～小6	35名	33名	99名
2	摂津夏期チャレンジ（府立海洋センター）		2泊3日	小4～小6	40名	40名	120名
	堺市子ども会育成協議会 冬の交流事業（海遊館等）計画変更により中止	2月 11日(火)祝	日帰り	小4～小6	40名	0名	0名
3	摂津冬期チャレンジ（ハチ高原）	22日(土)～24日(月)祝	2泊3日	小4～小6	40名	40名	120名
4	箕面市青少年キャンプ事業(箕面教学の森野外センター)	通年（7月～12月） 12事業＋ネット上で写真展		箕面市在住の5歳～小6	396名	373名	664名

令和6(2024)年度

決算書

一般財団法人大阪府青少年活動財団

令和6年4月1日～令和7年3月31日

貸借対照表

(令和6(2024)年4月1日から令和7(2025)年3月31日まで)

(単位:円)

科目	当年度 令和7(2025)年3月31日現在	前年度 令和6(2024)年3月31日現在	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	138,775	81,220	57,555
普通預金	22,518,143	12,083,027	10,435,116
郵便振替	455,561	1,883,169	△ 1,427,608
施設現預金	3,003,526	836,829	2,166,697
現金預金合計	26,116,005	14,884,245	11,231,760
未収金	3,438,290	3,427,875	10,415
前払金	254,976	336,218	△ 81,242
立替金	0	0	0
仮払金	13,619	169,940	△ 156,321
流動資産合計	29,822,890	18,818,278	11,004,612
2 固定資産			
(1)基本財産			
現金預金	0	0	0
投資有価証券	51,000,000	51,000,000	0
基本財産合計	51,000,000	51,000,000	0
(2)特定資産			
育成事業積立資産	1,000,000	0	1,000,000
現金預金	1,000,000	0	1,000,000
投資有価証券	0	0	0
青少年基金資産	30,000,000	40,000,000	△ 10,000,000
現金預金	19,943,238	29,943,238	△ 10,000,000
投資有価証券	10,056,762	10,056,762	0
退職給付引当資産	5,290,000	4,682,000	608,000
現金預金	5,290,000	4,682,000	608,000
投資有価証券	0	0	0
特定資産合計	36,290,000	44,682,000	△ 8,392,000
(3)その他固定資産			
建物	317,144	1,625,357	△ 1,308,213
什器備品	9	9	0
ソフトウェア	1,252,020	1,967,460	△ 715,440
保証金	2,758,150	2,758,150	0
投資有価証券	25,000	25,000	0
出資金	1,000	1,000	0
その他固定資産合計	4,353,323	6,376,976	△ 2,023,653
固定資産合計	91,643,323	102,058,976	△ 10,415,653
資産合計	121,466,213	120,877,254	588,959

Ⅱ 負債の部			
1 流動負債			
未 払 金	21,428,824	14,866,696	6,562,128
前 受 金	250,900	2,151,653	△ 1,900,753
預 り 金	454,434	398,710	55,724
仮 受 金	50,123	330	49,793
流動負債合計	22,184,281	17,417,389	4,766,892
2 固定負債			
長 期 借 入 金	24,250,000	27,500,000	△ 3,250,000
長 期 未 払 金	536,580	1,252,020	△ 715,440
退職給付引当金	5,290,000	4,682,000	608,000
固定負債合計	30,076,580	33,434,020	△ 3,357,440
負債合計	52,260,861	50,851,409	1,409,452
Ⅲ 正味財産の部			
1 指定正味財産			
基 本 財 産	51,000,000	51,000,000	0
大阪府補助金	49,500,000	49,500,000	0
寄付金	1,500,000	1,500,000	0
青 少 年 基 金	30,000,000	40,000,000	△ 10,000,000
指定正味財産合計	81,000,000	91,000,000	△ 10,000,000
(うち基本財産への充当額)	(51,000,000)	(51,000,000)	
(うち特定資産への充当額)	(30,000,000)	(50,000,000)	
一般正味財産	△ 11,794,648	△ 20,974,155	9,179,507
(うち育成事業積立資産への充当額)	(0)	(0)	
正味財産合計	69,205,352	70,025,845	△ 820,493
負債及び正味財産合計	121,466,213	120,877,254	588,959

正味財産増減計算書

(令和6(2024)年4月1日から令和7(2025)年3月31日まで)

(単位:円)

科目	当年度 2024.4.1～2025.3.31	前年度 2023.4.1～2024.3.31	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①基本財産運用益	635,700	635,700	0
基本財産受取利息	635,700	635,700	0
②特定資産運用益	156,694	357,983	△ 201,289
特定資産受取利息	156,694	357,983	△ 201,289
③受 取 会 費	560,000	635,600	△ 75,600
賛 助 会 費	560,000	625,600	△ 65,600
サポーターズクラブ 会費	0	10,000	△ 10,000
④事 業 収 益	198,987,493	150,516,416	48,471,077
青少年自立支援事業収益	872,365	636,592	235,773
青少年育成事業収益	100,608,792	89,401,956	11,206,836
機関連携事業収益	15,888,072	10,814,739	5,073,333
市施設運営事業収益	33,576,203	5,456,760	28,119,443
府施設運営事業収益	48,042,061	44,206,369	3,835,692
⑤受取補助金等	0	1,570,000	△ 1,570,000
受取国庫補助金収入	0	1,570,000	△ 1,570,000
⑥受 取 寄 付 金	11,000,000	10,000,000	1,000,000
受取寄付金	1,000,000	0	1,000,000
受取寄付金振替額	10,000,000	10,000,000	0
⑦雑 収 益	1,047,428	395,076	652,352
受 取 利 息	765	44	721
雑 収 益	1,046,663	395,032	651,631
経常収益計	212,387,315	164,110,775	48,276,540
(2) 経常費用			
①事 業 費	201,029,484	182,342,746	18,686,738
報酬(理事)	7,213,440	4,061,577	3,151,863
報 酬	4,113,000	5,180,863	△ 1,067,863
給 料	52,558,700	55,082,000	△ 2,523,300
職 員 手 当	19,538,847	20,443,723	△ 904,876
退職給付費用	673,000	724,000	△ 51,000
共 済 費	13,476,183	13,525,913	△ 49,730
福利厚生費	138,269	146,205	△ 7,936
賃 金	10,459,316	8,613,754	1,845,562
賃金共済費	1,489,461	1,051,599	437,862
報 償 費	9,201,085	8,006,931	1,194,154
旅 費	6,204,718	6,077,123	127,595
消耗品費	6,833,790	3,442,311	3,391,479
印刷製本費	790,580	1,186,145	△ 395,565
食 料 費	15,191,505	12,639,386	2,552,119
光 熱 水 費	6,787,438	3,758,823	3,028,615
燃 料 費	347,766	332,579	15,187
修繕費	198,000	1,067,000	△ 869,000
通信運搬費	1,467,777	1,636,085	△ 168,308
手 数 料	6,189,261	4,915,443	1,273,818
保 険 料	1,205,458	807,322	398,136
賃 借 料	19,409,135	18,837,572	571,563
委 託 料	2,945,867	644,972	2,300,895
負 担 金	1,921,951	1,957,691	△ 35,740
什器備品費	0	0	0
原 材 料 費	0	0	0
公 課 費	10,397,098	6,062,741	4,334,357
雑 費	0	13,176	△ 13,176
減価償却費	2,023,653	2,023,653	0
支 払 利 息	254,186	104,159	150,027

②管 理 費	2,178,324	1,938,135	240,189
報酬(理事)	322,560	237,150	85,410
報 酬	121,000	121,000	0
給 料	643,800	585,000	58,800
職 員 手 当	153,301	135,733	17,568
退職給 付 費用	10,000	10,000	0
共 済 費	189,095	155,147	33,948
福 利 厚 生 費	1,312	795	517
報 償 費	8,717	8,160	557
旅 費	68,220	70,610	△ 2,390
消 耗 品 費	8,592	4,582	4,010
印 刷 製 本 費	0	6,325	△ 6,325
食 料 費	3,435	4,515	△ 1,080
光 熱 水 費	38,279	46,427	△ 8,148
通 信 運 搬 費	15,181	18,279	△ 3,098
手 数 料	91,895	87,549	4,346
保 險 料	22,820	19,650	3,170
賃 借 料	378,136	388,615	△ 10,479
委 託 料	45,072	0	45,072
負 担 金	7,900	4,200	3,700
公 課 費	20,767	22,826	△ 2,059
支 払 利 息	28,242	11,572	16,670
経常費用計	203,207,808	184,280,881	18,926,927
評価損益等調整前当期経常増減額	9,179,507	△ 20,170,106	29,349,613
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	9,179,507	△ 20,170,106	29,349,613
2. 経常外増減の部			0
(1) 経常外収益			0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	9,179,507	△ 20,170,106	29,349,613
一般正味財産期首残高	△ 20,974,155	△ 804,049	△ 20,170,106
一般正味財産期末残高	△ 11,794,648	△ 20,974,155	9,179,507
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
特定資産売却益	0	0	0
有価証券売却益	0	0	0
一般正味財産への振替額	△ 10,000,000	△ 10,000,000	0
一般正味財産への振替額	△ 10,000,000	△ 10,000,000	0
当期指定正味財産増減額	△ 10,000,000	△ 10,000,000	0
指定正味財産期首残高	91,000,000	101,000,000	△ 10,000,000
指定正味財産期末残高	81,000,000	91,000,000	△ 10,000,000
Ⅲ 正味財産期末残高	69,205,352	70,025,845	△ 820,493

正味財産増減計算書内訳書

(令和6(2024)年4月1日から令和7(2025)年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	公益目的支出計画実施事業(継続事業)			その他事業				法人会計	内部取引 控除	合計
	①青少年活動 リーダー 育成事業	②青少年自 立支援事業	小計	①育成事業	②連携事業	③施設運営	小 計			
I 一般正味財産増減の部										
1 経常増減の部										
(1) 経常収益										
①基本財産運用益								635,700		635,700
基本財産受取利息								635,700		635,700
②特定資産運用益								156,694		156,694
特定資産受取利息								156,694		156,694
③受取会費	0		0	560,000			560,000			560,000
受取賛助会費				560,000			560,000			560,000
サポーターズ'クラブ'会費			0							0
④事業収益		872,365	872,365	124,873,667	15,888,072	86,620,182	227,381,921		△ 29,266,793	198,987,493
青少年自立支援事業収益		872,365	872,365							872,365
青少年育成事業収益				124,873,667			124,873,667		△ 24,264,875	100,608,792
機関連携事業収益					15,888,072		15,888,072			15,888,072
市施設運営事業収益						38,578,121	38,578,121		△ 5,001,918	33,576,203
府施設運営事業収益						48,042,061	48,042,061			48,042,061
⑤受取補助金等				0	0	0	0	0		0
受取国庫補助金収入							0			0
⑥受取負担金										0
受取負担金										0
⑦受取寄付金	1,000,000		1,000,000	10,000,000			10,000,000			11,000,000
受取寄付金	1,000,000		1,000,000				0			1,000,000
受取寄付金振替額				10,000,000			10,000,000			10,000,000
⑧雑収益		7,310	7,310	237,680	71,760	197	309,637	730,481		1,047,428
受取利息				425		197	622	143		765
雑収益		7,310	7,310	237,255	71,760		309,015	730,338		1,046,663
経常収益計	1,000,000	879,675	1,879,675	135,671,347	15,959,832	86,620,379	238,251,558	1,522,875	△ 29,266,793	212,387,315
(2) 経常費用										
①事業費	7,617,229	2,664,128	10,281,357	123,955,126	14,229,780	81,830,014	220,014,920		△ 29,266,793	201,029,484
報酬(理事)	584,640	250,560	835,200	1,612,800	193,536	4,571,904	6,378,240			7,213,440
報酬			0	3,447,560	254,040	411,400	4,113,000			4,113,000
給料	2,250,000	675,000	2,925,000	15,503,460	1,969,320	32,160,920	49,633,700			52,558,700
職員手当	750,000	225,000	975,000	7,020,288	778,183	10,765,376	18,563,847			19,538,847
退職給付費用	50,000	0	50,000	233,000	23,000	367,000	623,000			673,000
共済費	450,000	135,000	585,000	4,586,454	760,023	7,544,706	12,891,183			13,476,183
福利厚生費			0	38,584	7,375	92,310	138,269			138,269
賃金			0	1,464,396	0	8,994,920	10,459,316			10,459,316
賃金共済費			0	16,962	0	1,472,499	1,489,461			1,489,461
報償費	16,000	139,136	155,136	8,461,564	554,750	29,635	9,045,949			9,201,085
旅費	1,296,440	133,335	1,429,775	3,855,745	678,624	240,574	4,774,943			6,204,718
消耗品費	188,424	24,360	212,784	4,408,267	347,595	3,278,164	8,034,026		△ 1,413,020	6,833,790
印刷製本費			0	790,580	0	0	790,580			790,580
食料費	567,932	229,408	797,340	13,250,493	1,897,512	817,678	15,965,683		△ 1,571,518	15,191,505
光熱水費			0	3,729,006	22,965	3,035,467	6,787,438			6,787,438
燃料費	16,551		16,551	272,027	12,643	46,545	331,215			347,766
修繕費			0	0		198,000	198,000			198,000
通信運搬費	12,096		12,096	937,216	110,717	407,748	1,455,681			1,467,777
手数料	9,667	528	10,195	4,063,884	136,338	1,978,844	6,179,066			6,189,261
保険料	46,329	8,956	55,285	729,694	41,631	378,848	1,150,173			1,205,458
賃借料	1,305,350	812,845	2,118,195	36,857,185	5,249,823	1,466,187	43,573,195		△ 26,282,255	19,409,135
委託料		30,000	30,000	1,776,355	27,042	1,112,470	2,915,867			2,945,867
負担金	73,800		73,800	1,715,035	15,956	117,160	1,848,151			1,921,951
什器備品費			0				0			0
原材料費			0				0			0
公課費			0	7,262,953	888,510	2,245,635	10,397,098			10,397,098
雑費			0				0			0
減価償却費			0	1,780,400	243,253		2,023,653			2,023,653
支払利息			0	141,218	16,944	96,024	254,186			254,186
②管理費								2,178,324	0	2,178,324
報酬(理事)								322,560		322,560
報酬								121,000		121,000
給料								643,800		643,800
職員手当								153,301		153,301
退職給付費用								10,000		10,000
共済費								189,095		189,095
福利厚生費								1,312		1,312
報償費								8,717		8,717
旅費								68,220		68,220
消耗品費								8,592		8,592
印刷製本費								0		0
食料費								3,435		3,435
光熱水費								38,279		38,279
通信運搬費								15,181		15,181
手数料								91,895		91,895
保険料								22,820		22,820
賃借料								378,136		378,136
委託料								45,072		45,072
負担金								7,900		7,900
公課費								20,767		20,767
支払利息								28,242		28,242
経常費用計	7,617,229	2,664,128	10,281,357	123,955,126	14,229,780	81,830,014	220,014,920	2,178,324	△ 29,266,793	203,207,808
評価損益等調整前当期経常増減額	▲ 6,617,229	▲ 1,784,453	▲ 8,401,682	11,716,221	1,730,052	4,790,365	18,236,638	▲ 655,449		9,179,507
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0		0
当期経常増減額	▲ 6,617,229	▲ 1,784,453	▲ 8,401,682	11,716,221	1,730,052	4,790,365	18,236,638	▲ 655,449		9,179,507
2 経常外増減の部										
(1) 経常外収益										
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0		0
(2) 経常外費用										
固定資産除却損										
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0		0
当期経常外増減額										
当期一般正味財産増減額	▲ 6,617,229	▲ 1,784,453	▲ 8,401,682	11,716,221	1,730,052	4,790,365	18,236,638	▲ 655,449		9,179,507
一般正味財産期首残高							▲ 20,974,155			▲ 20,974,155
一般正味財産期末残高	▲ 6,617,229	▲ 1,784,453	▲ 8,401,682	11,716,221	1,730,052	4,790,365	▲ 2,737,517	▲ 655,449		▲ 11,794,648
II 指定正味財産増減の部										
特定資産売却益			0							0
投資有価証券売却益			0							0
一般正味財産への振替額	0		0	▲ 10,000,000			▲ 10,000,000			▲ 10,000,000
一般正味財産への振替額	0		0	▲ 10,000,000			▲ 10,000,000			▲ 10,000,000
当期指定正味財産増減額	0		0	▲ 10,000,000			▲ 10,000,000			▲ 10,000,000
指定正味財産期首残高							91,000,000			91,000,000
指定正味財産期末残高							81,000,000			81,000,000
III 正味財産期末残高	▲ 6,617,229	▲ 1,784,453	▲ 8,401,682	11,716,221	1,730,052	4,790,365	78,262,483	▲ 655,449		69,205,352

財務諸表に対する注記

2025年3月31日

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

- 満期保有目的の債券……移動平均法による原価法によっている。
- 満期保有目的の債券並びに子会社株式及び関連会社株式以外の有価証券
時価のないもの……移動平均法による原価法によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

- 建物 ……減価償却は、定額法により実施している。
- 什器備品 ……減価償却は、定額法により実施している。
- ソフトウェア ……減価償却は、定額法により実施している。

(3) 退職給付引当金

職員の退職給付に充てるため、退職金規程に基づき期末所要額を計上している。

(4) 消費税等の会計処理について

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

(単位:円)

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産	51,000,000	0	0	51,000,000
普通預金	0	0	0	0
利付国債	51,000,000	0	0	51,000,000
特定資産	44,682,000	1,683,000	10,075,000	36,290,000
育成事業積立資産	0	1,000,000	0	1,000,000
普通預金	0	1,000,000	0	1,000,000
利付国債	0	0	0	0
退職給付引当資産	4,682,000	683,000	75,000	5,290,000
普通預金	4,682,000	683,000	75,000	5,290,000
利付国債	0	0	0	0
青少年基金資産	40,000,000	0	10,000,000	30,000,000
普通預金	29,943,238	0	10,000,000	19,943,238
利付国債	10,056,762	0	0	10,056,762
合 計	95,682,000	1,683,000	10,075,000	87,290,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産	51,000,000	51,000,000	0	0
普通預金	0	0	0	0
利付国債	51,000,000	51,000,000	0	0
特定資産	36,290,000	30,000,000	1,000,000	5,290,000
育成事業積立資産	1,000,000	0	1,000,000	0
普通預金	1,000,000	0	1,000,000	0
利付国債	0	0	0	0
退職給付引当資産	5,290,000	0	0	5,290,000
普通預金	5,290,000	0	0	5,290,000
利付国債		0	0	0
青少年基金資産	30,000,000	30,000,000	0	0
普通預金	19,943,238	19,943,238	0	0
利付国債	10,056,762	10,056,762	0	0
合 計	87,290,000	81,000,000	1,000,000	5,290,000

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

(単位:円)

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

科 目	取 得 価 額	減価償却累計額	当期末残高
建 物	19,821,410	19,504,266	317,144
什 器 備 品	3,516,710	3,516,701	9
ソフトウェア	3,577,200	2,325,180	1,252,020
合 計	26,915,320	25,346,147	1,569,173

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

科 目	帳 簿 価 額	時 価	評 価 損 益
基本財産	51,000,000	49,984,066	△ 1,015,934
利付国債	51,000,000	49,984,066	△ 1,015,934
育成事業積立資産	0	0	0
利付国債	0	0	0
青少年基金資産	10,056,762	10,508,914	452,152
利付国債	10,056,762	10,508,914	452,152
退職給付引当資産	0	0	0
利付国債	0	0	0
合 計	61,056,762	60,492,980	△ 563,782

6. 実施事業資産について

実施事業資産はない。

附属明細書

2025年3月31日

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産については、「財務諸表に対する注記」の「2.基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」に記載しているので、内容の記載を省略する。

2. 引当金の明細

退職給付引当金

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	4,682,000	683,000	75,000	0	5,290,000

監 査 報 告 書

令和 7(2025)年 5 月 30 日

一般財団法人大阪府青少年活動財団
代表理事 専務理事 中野 泰孝 様

監 事 末岡 祥弘 

監 事 竹 川 清 

一般財団法人大阪府青少年活動財団の令和 6(2024)年度（自 令和 6(2024)年 4 月 1 日 至 令和 7(2025)年 3 月 31 日）の財務及び業務の執行状況について、監査を実施した結果、次のとおり適正であると認める。

1. 財務諸表（貸借対照表及び正味財産増減計算書）は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況及び財産の状態を正しく表示していると認める。
2. 理事から事業報告書の内容について聴取し、その内容は事実であると認める。
3. 理事の職務に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事項はないと認める。

以上

【別紙2：公益目的支出計画実施報告書】

2. 公益目的支出計画実施報告書

【令和6年度（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）の概要】

1. 公益目的財産額	254,455,826 円
2. 当該事業年度の公益目的収支差額 (①+②-③)	124,130,081 円
①前事業年度末日の公益目的収支差額	115,728,399 円
②当該事業年度の公益目的支出の額	10,281,357 円
③当該事業年度の実施事業収入の額	1,879,675 円
3. 当該事業年度末日の公益目的財産残額	130,325,745 円
4. 2の欄に記載した額が計画に記載した見込み額と異なる場合、その概要及び理由	
当初予算と大きな乖離はなく、実施計画に影響はない。	

注：詳細は、別紙様式に個別の実施事業等ごとに記載してください。

【公益目的支出計画の状況】

公益目的支出計画の完了予定事業年度の末日	①. 計画上の完了見込み	令和20年3月31日
	②. ①より早まる見込みの場合	

	前事業年度		当該事業年度		翌事業年度
	計画	実績	計画	実績	計画
公益目的財産額	254,455,826 円	254,455,826 円	254,455,826 円	254,455,826 円	254,455,826 円
公益目的収支差額	124,709,000 円	115,728,399 円	134,302,000 円	124,130,081 円	143,895,000 円
公益目的支出の額	11,913,000 円	10,473,921 円	11,913,000 円	10,281,357 円	11,913,000 円
実施事業収入の額	2,320,000 円	646,592 円	2,320,000 円	1,879,675 円	2,320,000 円
公益目的財産残額	129,746,826 円	138,727,427 円	120,153,826 円	130,325,745 円	110,560,826 円

※前事業年度及び当該事業年度の計画及び実績の額、翌事業年度の計画の額を記載してください。

公益目的支出計画実施報告書に関する監査報告書

令和7(2025)年5月30日

一般財団法人大阪府青少年活動財団
代表理事 専務理事 中野 泰孝 様

監 事 末岡 祥弘 
監 事 竹川 清 

私ども監事は、一般財団法人大阪府青少年活動財団の令和6(2024)年4月1日から令和7(2025)年3月31日までの令和6(2024)年度における公益目的支出計画実施報告書を監査いたしました結果、次のとおり報告します。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等との意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査し、当該事業年度に係る公益目的支出計画実施報告書について検討した。

2. 監査意見

公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い、法人の公益目的支出計画の実施状況を正しく示していると認める。

以上